

令和8年度 福島県各地区 U14DC コーチ伝達講習会【男子】 実施報告

- 1 日時 令和8年6月21日（日）13:30～16:30
- 2 会場 伊達市立梁川中学校
- 3 参加者 各地区 U14DC スタッフ、中学生年代を指導するコーチ（計33名）
- 4 講師 渡邊 真隆氏（福島県 U14男子チーフコーチ）
- 5 内容 ○JBA の方針に沿った DC 活動のコーチング
○オフェンス、ディフェンスのファンダメンタルの指導法

〔伝達講習会の様子〕



JBA

■今年度テーマについて

- *ペイントエリア攻防の重要性
～なぜペイントエリアを取り上げたのか～
- *ドリルの使い方の原則論
～具体的な例示を含めて～

■ドリル活用の考え方

- *「何を」「どのような順序で」指導するか

2

JBA

今年度のテーマについて

将来獲得すべきスキルを逆算した際に
育成年代の選手にとって
早い段階でペイントエリア内のスキルや判断、攻防の機会を
作っていくべきという考え方から今年度のテーマを設定しました

↓

**制約条件があることで獲得すべきスキルにフォーカスし
そのスキルを発揮させる機会を作ることを
指導実践内で紹介していきます**

5

JBA

今年度のテーマについて

育成年代でのペイントエリアの攻防の重要性を考えるとあたって
現行ルールに制限を加えている例を考えてみます。

↓

制約条件があることで獲得すべきスキルにフォーカスする

JBAでは育成年代のマンツーマンディフェンスを推進しています。
(ゾーンディフェンスを禁止しています)

なぜならば、
ゾーンディフェンスの攻防では
ペイント周辺を固めるディフェンスによってペイント侵入の機会を失うから
です。

これは、
育成年代で獲得すべきフィニッシュスキル、チャンスメイク、クリエイト場面を
学ぶ機会が阻害されてしまわないようにする措置でもあります。

育成年代で獲得すべき正しいスキルを学ぶ機会を失わないために
ゾーンディフェンス禁止という制限を加えています。

6

JBA

ドリルに関する再認識

ドリルの持ち帰りにならないように

- ・コーチが選手へドリルを提供することが目的になっていないか？
- ・ブロックDCのメニューをドリルの提供として捉えていないか？

11

JBA

ドリルに関する再認識

何を身につけるためのドリルかを考える

- ・身につけたいスキルをゴールに置いた際に逆算して道筋を組み立てる。
- ・ドリルの中でどのような制限を与えることで学びが起こるのか
(気づかせたいもの近づかせることができるか、それを反復できるのか)
- ・そのための仕組み作りや調整をドリルとして提示していく

12